

間雑種であろう」とされている。

#### 文献

1. 日浦勇，謎のギンヤンマ．Nature Study, 14巻10号( 1968:10 ) ．
2. 井上清ほか，日本産トンボ大図鑑，pp.232～233 ．講談社．
3. 石田昇三，原色日本昆虫生態図鑑Ⅱトンボ編，pp.127～128 ．保育社．

## 2 日目に羽化を完了したギフチョウ

木下賢司

少し古い記録ではあるが，羽化を失敗したと思っていたギフチョウが，翌日になってからやっと翅を延ばし，ほぼ完全な個体となった例があるので報告する。

1980年に，出石町袴狭より卵を持ち帰り飼育を行ったところ，38個体が蛹化，家の北側軒下で越冬させていた．問題のギフチョウはこのうちの2頭である。

1981年3月30日，曇天．午後3時ごろ，羽化の準備のために蛹を室内に移し網をかけていたところ，突然に3個体が羽化を開始した．このような状況下での羽化を見たことがなかったので，興味を持ち観察していると，1頭はすぐに網を登り，30分後には完全な個体（♂）となった。

しかし，他の2頭は，蛹の殻を破ったもののあまり元気はなく，わずかに動く程度であった．網に登る様子はなく，翅もほとんど延びずに，ついに夜を迎えてしまった。

完全な羽化の失敗と思い諦めていたところ，驚いたことに翌日の3月31日午前9時ごろに，2頭とも再び動き出し，元気に網を登って翅を延ばし始め，30分後には完全な個体（2頭とも♂）になった。

今までの経験では，羽化直後に翅の延びなかった個体が，その後完全な成虫になった例を知らない．ちなみに他の蛹35個体は，4月4日以降，相次いで羽化をし，15♂18♀（羽化しなかったもの2）となった。

この報告を出すにあたって，ギフチョウの蛹について，姫路の広畑政己氏からいろいろとご教示いただいた．誌面を借りて，お礼申し上げる。